

令和4年度前学期 理工学部 追試験時間割

※全科目【S101教室(1号館1階)】で実施（一部の科目を除く）

★下段（3ページ目）の注意事項を必ず確認すること★

●遠隔オンデマンド型

試験日	時限	科目名称	担当教員氏名	クラス	実施方法	持込物件	備考
8/17～8/22		情報ネットワーク	緒方 将人	木3	遠隔	電卓	KsLifeの授業連絡を確認すること。

●対面遠・遠隔リアルタイム型

試験日	時限	科目名称	担当教員氏名	クラス	実施方法	持込物件	備考
8月17日	2限	□現代の経済	関根 順一	火4	対面	テキスト	
		□韓国語Ⅰ	高木 伸子	火1	対面	不可	試験実施場所：教務課中会議室（リスニングあり）
		微分積分Ⅱ	石田 健一	火1	対面	A4用紙自筆メモ1枚	
		微分積分Ⅱ	石田 健一	火2	対面	A4用紙自筆メモ1枚	
		センサ工学	村上 剛司	火1	対面	不可	
		機械力学Ⅰ	小代 哲也	火4	対面	電卓	
		機械製図Ⅰ	牛見 宣博	月1.2	対面	三角定規、コンパス、 シャープペンシル0.3、0.7mm	
		機械製図Ⅰ	久保 明雄	火1.2	対面	三角定規、コンパス、 シャープペンシル0.3、0.7mm	
	3限	機械製図Ⅰ	久保 明雄	水1.2	対面	三角定規、コンパス、 シャープペンシル0.3、0.7mm	
		データ構造とアルゴリズムⅡ	米元 聡	火2	対面	不可	
		データ構造とアルゴリズムⅡ	于 海波	火2	対面	不可	
		伝熱工学	福田 翔	火2	対面	電卓	
		機械力学Ⅰ	丘 華	火2	対面	電卓	
		機械力学Ⅰ	丘 華	火4	対面	電卓	
	4限	微分方程式	津田 和幸	火4	対面	ノート、レジュメ(全て手書き)	
		□現代の政治	朝倉 拓郎	火2	対面	配布資料	
		機械工作法Ⅰ	久保 明雄	火3	対面	電卓	
		機械工作法Ⅰ	村田 光昭	火3	対面	電卓	
		機械工作法Ⅰ	牛見 宣博	火3	対面	電卓	
		機械・ロボット設計Ⅰ	丘 華	金1	対面	電卓	
		機械・ロボット設計Ⅰ	牛見 宣博	金1	対面	電卓	
		半導体デバイス工学	竹下 達也	火3	対面	不可	
	5限	□文学の世界	森 誠子	火4	対面	自筆で書き込んだ授業時配布資料、ノート	友だちのプリントのコピー及び授業時のスライドを スキャンしたものは、持ち込み不可
		知的財産権	石橋 一郎	木2	対面	不可	
		プログラミング基礎Ⅱ	于 海波	火4	対面	不可	
		プログラミング基礎Ⅱ	合志 和晃	火4	対面	不可	
		プログラミング基礎Ⅱ	下川 俊彦	火4	対面	不可	
	6限	□プログラミング導入	林 政喜	火4	対面	ノート、配布資料	
		□フランス語会話Ⅰ	Plaut Se'bastien	火5	対面	不可	
		機構学	丘 華	火5	対面	電卓、テキスト	
		熱力学	福田 翔	木1	対面	電卓	
		熱力学	赤坂 亮	木1	対面	電卓	
		熱力学Ⅰ	迫田 直也	木1	対面	電卓	
		熱力学Ⅰ	福田 翔	木1	対面	電卓	
		熱力学Ⅰ	赤坂 亮	木1	対面	電卓	
		離散数学Ⅰ	朝廣 雄一	木2	遠隔 リアルタイム	自由	担当教員よりKsLifeから連絡。

令和4年度前学期 理工学部 追試験時間割

※全科目【S101教室(1号館1階)】で実施（1部の科目を除く）

★下段（3ページ目）の注意事項を必ず確認すること★

●対面遠・遠隔リアルタイム型

試験日	時間	科目名称	担当教員氏名	クラス	実施方法	持込物件	備考
8月18日	2限	※教育相談の方法・技術	高松 勝也	水5	対面	持込自由	
		□文化人類学	高野 誠司	月2	対面	持込自由	
		現代自然科学	仲 隆	月1	対面	A4自筆メモ1枚	
		データベース	成 凱	木1	対面	A4手書きノート1枚	
		微分積分Ⅱ	清田 裕介	月1	対面	不可	
		微分積分Ⅱ	清田 裕介	火3	対面	不可	
		微分積分Ⅱ	津田 和幸	月1	対面	不可	
		材料強度学	寺西 高広	木1	対面	不可	
		プログラミング入門	隅田 康明	月1	対面	不可	
		プログラミング入門	隅田 康明	月3	対面	不可	
		プログラミング入門	隅田 康明	月4	対面	不可	
		プログラミング入門	下川 俊彦	火2	対面	不可	
		プログラミング入門	B.O. アブドゥッハ	火2	対面	不可	
		プログラミング入門	合志 和晃	月1	対面	不可	
		プログラミング入門	合志 和晃	月4	対面	不可	
	3限	□世界の歴史	片桐 康宏	水2	対面	不可	
		□韓国語Ⅰ	申 鎬	月2	対面	不可	
		□韓国語Ⅰ	申 鎬	月4	対面	不可	
		□フランス語Ⅰ	木下 樹親	火3	対面	不可	
		確率統計	仲 隆	月2	対面	A4自筆メモ1枚 ※演習ノート回収	
		エンジニアリング演習	赤坂 亮	木2	対面	電卓	
		線形代数Ⅰ	花元 誠一	月2	対面	不可	
		線形代数Ⅰ	花元 誠一	月4	対面	不可	
		電気回路Ⅱ	織田 一弘	水1	対面	不可	
		電気回路Ⅱ	織田 一弘	水2	対面	不可	
		電磁波工学	松岡 剛志	水2	対面	テキスト、自筆ノート	
	4限	□中国語Ⅰ	有働 彰子	水3	対面	不可	
		情報理論・確率論	石田 健一	月3	対面	不可	
		情報理論・確率論	米元 聡	月3	対面	不可	
		情報処理技術Ⅰ	前田 誠	金1	対面	講義まとめノートA41枚（回収）	
		プロダクトデザイン演習	加藤 優	金2	対面	テキスト、ノート、配布資料	
		流体力学Ⅰ	松下 大介	月2	対面	電卓	
		流体力学Ⅰ	松下 大介	月3	対面	電卓	
		情報通信工学	松岡 剛志	月3	対面	テキスト、自筆ノート	
	5限	デジタルシステム概論	松岡 剛志	月1	対面	テキスト、自筆ノート	
		基礎数学	仲 隆	水1	対面	A4自筆メモ1枚 ※演習ノート回収	
		□地球環境	金光 理	水4	対面	不可	
		はじめての電気工学	榊 泰輔	水4	対面	電卓	
		材料力学Ⅱ	藤崎 渉	水4	対面	電卓、定規	
		材料力学Ⅱ	牛見 宣博	水4	対面	電卓、定規	
		材料力学Ⅱ	寺西 高広	水4	対面	電卓、定規	
		自動車工学	福田 翔	月4	対面	電卓	
		※数学科教育法	高松 勝也	月4	対面	持込自由	
	6限	※教育原理	松原 岳行	水1	対面	不可	
		□地理の世界	方 大年	水3	対面	不可	
		□地理の世界	石丸 哲史	月5	対面	不可	

令和4年度前学期 理工学部 追試験時間割

※全科目【S101教室(1号館1階)】で実施（一部の科目を除く）

★下段（3ページ目）の注意事項を必ず確認すること★

●対面遠・遠隔リアルタイム型

試験日	時限	科目名称	担当教員氏名	クラス	実施方法	持込物件	備考
8月19日	2限	代数学Ⅰ	石田 俊一	木1	対面	ノート	
		日本語表現法	前田 誠	火1	対面	講義まとめレポートA41枚（回収）	
		日本語表現法	前田 誠	火2	対面	講義まとめレポートA41枚（回収）	
		電子回路Ⅰ	竹下 達也	木1	対面	不可	
		電子回路Ⅰ	竹下 達也	木2	対面	不可	
	3限	□日本国憲法	城下 健太郎	金2	対面	自筆ノートのみ許可（印刷物を貼り付けた場合は不可）	
		基礎物理	寺下 裕俊	木2	対面	不可	
		基礎物理	藤野 重之	木2	対面	電卓	
		基礎物理	上坂 優一	木2	対面	不可	
		基礎物理	中村 賢仁	木2	対面	関数電卓	
		基礎物理	大坪 慎一	月5	対面	テキスト、ノート、配布資料	
		ハードウェア設計Ⅰ	石田 俊一	金2	対面	テキスト	
		ハードウェア設計Ⅰ	澤田 直	金2	対面	テキスト	
		通信システム工学Ⅰ	織田 一弘	木2	対面	不可	
	4限	□現代の政治	鎌田 厚志	金1	対面	持込自由	
		□法学	岸田 優	金3	対面	ノート、配布資料	
		□法学	岸田 優	金4	対面	ノート、配布資料	
		□生物の世界	高橋 直樹	金3	対面	ノート、配布資料（ノートの内容や配布資料への書き込みは印刷したものではないこと）	
	5限	※教育の方法・技術	佐喜本 愛	木4	対面	授業中に指示したもの	
		物理学	大坪 慎一	木4	対面	ノート、配布資料	
		品質管理Ⅰ	大田 暢彦	木4	対面	不可	
	6限	□現代の政治	李 鍾成	金2	対面	不可	
		□日本の歴史	吉原 弘道	月1	対面	配布資料★注意事項 答案にも「答案と一緒にプリントも提出すること（プリントが未提出・不正物の場合は0点とする）」と書いていますが、試験に使用したプリント2枚も答案と一緒に回収します。プリントが未提出の場合、0点となります。	
		□日本の歴史	吉原 弘道	月3	対面		
		□日本の歴史	吉原 弘道	木4	対面		

追試験教室：S101教室（1号館1階）

試験開始10分前までに着席しておくこと。

追試験当日は、「学生証」「追試験申込書・受験票」を必ず持参すること

試験時間割

1限	9:00~9:50	6限	15:10~16:00
2限	10:10~11:00	7限	16:20~17:10
3限	11:20~12:10	8限	18:00~18:50
4限	12:50~13:40	9限	19:10~20:00
5限	14:00~14:50	10限	20:20~21:10

※通常の授業時間割とは時間帯が異なります。

【注意事項】

- ①追試験当日は、「学生証」と「追試験申込書・受験票」を持参してください。
- ②追試験を個人の事情で受験できなかった場合は、再度の追試験は実施しませんので、必ず決められた試験日時で受験してください。
- ③追試験を受験しなかった場合、追試験料を返金することはできません。
- ④レポート等による追試験の場合、提出締切日・時間に遅れた時は受け付けません。
また、一度提出したレポート等は、提出締切前であっても加筆・修正はできません。
- ⑤追試験時間割及び持込物件一覧表など、追試験に関する確認についてはすべて自己責任になります。